

し え ん 便 い

29年1月
発行

和歌山県立みくまの支援学校 支援部

ええもん みいつけた！



これは、ある小学校の肢体不自由特別支援学級の写真です。

机上学習のためのカットアウトテーブル。足で踏ん張りやすいように工夫された椅子。ちょっと見るだけで学習姿勢を大切に指導されていることが分かります。

隣の机には学用品を入れるカゴやクラッチ置き場が用意されています。学校生活に必要なさまざまな道具が手の届くところに整理され、使いやすいように配置された環境は、主体的な子どもの活動を促すためにとても大切なことですね。

今回は、巡回相談で見つけた支援のアイデアを紹介させていただきました。

“きれいに” 〇〇しよう!!～抽象的な言葉って難しいなあ…～



学校生活の中で、「きれいに掃除しましょう」「きれいに拭きましょう」という声かけ、よく耳にしますよね。でもこの“きれいに”という抽象的な言葉を理解するのが難しい子ども達もいます。落ちているごみを拾うなど、明確な汚れがあって、それが消えたことが見えないと“きれいに”できたかどうかの判断がつきにくいのです。きれいに掃除することを伝えるために、このような支援をしているところもあります。



- ◆カラーコーンやドットシールを用い、掃除する（拭く）場所を明確に示してあげる。
- ◆赤色のコーン（シール）から赤色のコーン（シール）まで〇回拭くなど、具体的な手順を示してあげる。

これは、あくまでもひとつの例ですが、なにをどうすればいいのかを具体的に指示してあげることが大切です。このような行動手順を繰り返すことで、抽象的な状態を示す“きれいに”を実感してもらうことができれば嬉しいですね。

【参考文献】「知的障害・発達障害のある人への合理的配慮」－自立のためのコミュニケーション支援－

坂爪一幸、湯汲英史ほか（かもがわ出版）

＜お問い合わせ先＞

T e l : 0735-31-6101

F a x : 0735-31-6102

支援部 南